

平成 27 年度冬期地区交流会報告

2016 年 1 月 19 日（火）に東北・関東・甲信越地区を皮切りに、全国 5 地区での交流会がスタート致しました。

東北・関東・甲信越地区交流会は例年通り、焼肉ビジネスフェア開催前日ということもあり、過去最高の参加人数の 135 名もの参加がありました。

全国では、正会員延べ 158 名、賛助会員延べ 283 名、スタッフその他 21 名の参加を頂きました。

各地区交流会とも、地区を代表する理事より、開会宣言を行いまして交流会をスタート致しました。

JY 会長で、なべしまホールディングス㈱の山口社長より、今期の協会活動報告や業界動向のお話等、益々の業界発展に向けてのご挨拶を頂きました。

懇親会開催店主挨拶の後、且専務理事より、JY 情勢報告と致しまして、業界 NEWS として、JF（一般社団法人日本フードサービス協会）による会員市場動向調査や TPP 大筋合意に伴う関税率のステージング、BSE 対策の変更点、国産牛の輸出動向など JY 活動の報告がなされました。

その後、賛助会員による恒例の自社 PR タイムがあり、また初参加の会員さまのご紹介なども行いました。

東海・北陸地区交流会は石川県金沢での初の開催となり、北陸地区の焼肉店さまにも参加して頂きました。関西・中国・四国地区交流会、北海道地区交流会、九州・沖縄地区交流会でも他の地区の焼肉店主様が参加されてご当地焼肉についての情報交換など、現場の意見での情報交換が行われる懇親会も遅くまで熱心に続けました。

また、今回の交流会では、会長、名誉会長及び協会副会長による座談会、講演会等、趣向を凝らしたプログラムもあり、普段、中々聞けない様な苦労話や現在の課題（原価率等）の話題を赤裸々なトークで会場を沸かせる等、各地区それぞれで、自店との比較をして参考になる内容になっていたのではないのでしょうか。賛助会員にも焼肉店の実情について触れる機会となり、日々の業務にもプラスになった事と思います。

皆様、今年度の地区交流会にご参加頂きまして誠にありがとうございました。